

沖縄県民の皆様
関係機関各位

令和6年6月27日
社会医療法人仁愛会 浦添総合病院

沖縄県ドクターヘリの部品落下事案について

当病院が運航する沖縄県ドクターヘリにおきまして、飛行中に窓の一部を落下させるという事案が発生いたしました。この度の事案により、沖縄県民の皆様ならびに関係者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。今後は早急に原因究明を行い再発防止に努める所存でございます。まずは取り急ぎ下記のとおり報告いたします。

1 報告内容

(1) 事案種類	部品の落下
(2) 発生日時	2024年6月26日(水) 15時38分頃
(3) 発生場所	沖縄県名護市東江中学校北側大東付近上空
(4) 機体	AW109SP グランニュー (レオナルド社製)
(5) 運航体制	運航会社：鹿児島国際航空株式会社 基地病院：社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 搭乗者：5名
(6) 概要	15時25分 与論島から沖縄県本島内医療機関への患者搬送のため浦添総合病院を離陸 15時38分 沖縄県名護市東江中学校北側大東付近上空を飛行中、後部座席に搭乗していた医師から機長に、「キャビン右側の窓に隙間ができていて浮いており、風圧で飛ばされる恐れがある」と通報があり、状況確認中(約30秒)に窓の一部が破損し落下した。 15時41分 機長により飛行継続困難と判断し、直近の名護市消防本部屋上ヘリポートへ予防着陸を行った。
(7) 落下部品	アクリル製の窓(25cm×26cm 約350g および 18cm×12cm 約100g) 落下部品の窓については、2024年6月26日夜間に沖縄県名護市北部保健所前の路上で名護市消防本部救急隊により発見された。6月27日午前中に名護警察署より連絡を受け鹿児島国際航空株式会社職員にて回収済み。 ※写真③④ 窓枠については、2024年6月27日午後に沖縄県名護市北部保健所近辺の私有地内で住民により発見された。名護警察署より連絡を受け鹿児島国際航空株式会社職員にて回収済み。※写真⑤

(8) 落下原因	現時点で推定される窓の落下に至った原因としては、キャビン右側窓の前縁接着部分が剥がれた事により、風圧で破損脱落したものと考えられる。その原因については現時点で調査中であり、機体メーカーへ確認を行っている。判明次第公表させていただく。
(9) 被害	現時点で地上の人的・物的被害の報告はなし。 機体はキャビン右窓の破損（25cm×26cm および 18cm×12cm）※写真① 機体は現時点で名護市消防本部屋上ヘリポート駐機中。 搭乗スタッフに負傷などの被害なし。
(10) 事前状況	当日の飛行前点検では異常なし。同日1件目の離島からの転院搬送時にも特に異常なし。
(11) 報告状況	名護市消防本部屋上ヘリポートへ着陸後直ちに以下の関係機関へ通報を行った。 ・名護警察署 ・国土交通省大阪航空局安全監督官 ・国土交通省那覇空港情報官 ・沖縄県医療政策課
(12) 搬送予定であった患者様	搬送予定であった患者様については、2024年6月27日午前中に奄美ドクターヘリにて沖縄県本島内の医療機関へ搬送されている。

2 写真

機体キャビン右窓の破損 (25cm×26cm および 18cm×12cm)

2024年6月26日落下事案発生後 名護市消防本部屋上へリポート ※写真①

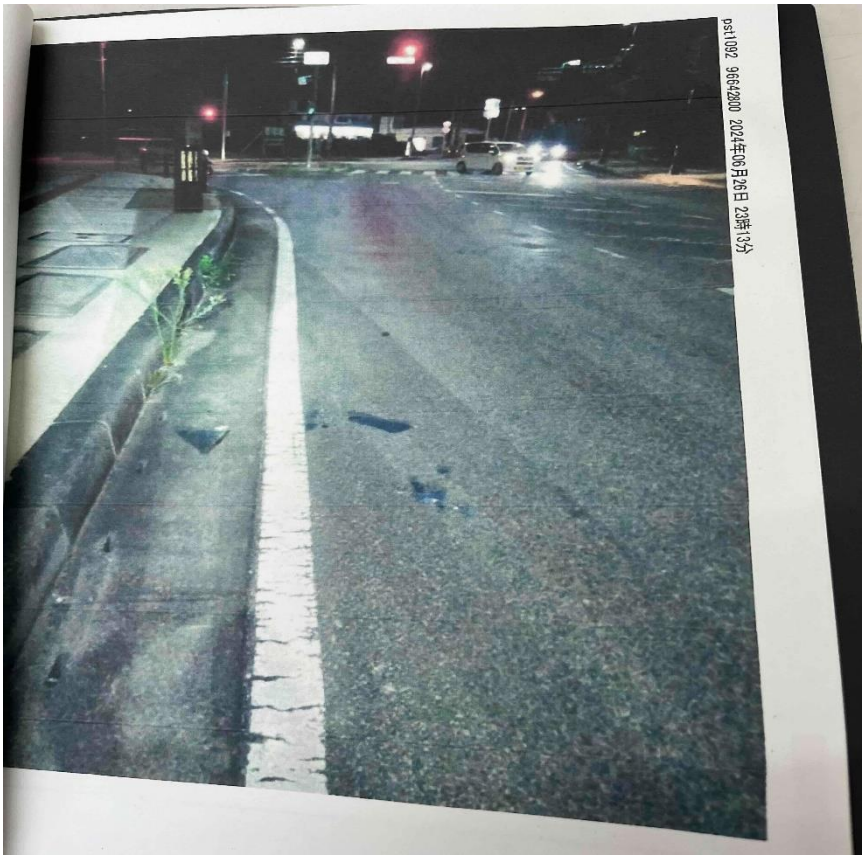


機体キャビン右窓 (通常時) ※写真②



落下した窓の発見現場

2024年6月26日夜間 沖縄県名護市北部保健所前の路上 ※写真③



落下した窓

2024年6月27日 回収後に結合 ※写真④



落下した窓枠

2024年6月27日 沖縄県名護市北部保健所近辺の私有地内 ※写真⑤

